

研究・調査報告書

報告書番号	担当
375	滋賀医科大学福祉保健医学講座
題名 (原題/訳)	
Comparison of consumption effects of brief interventions for hazardous drinking elderly. 高齢の有害飲酒者に対する短期介入が飲酒量に与える影響の検討	
執筆者	
Gordon AJ, Conigliaro J, Maisto SA, McNeil M, Kraemer KL, Kelley ME.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Subst Use Misuse. 2003 Jun;38(8):1017-35	
キーワード	
短期介入、高齢者、有害飲酒者	
要 旨	
<p>短期介入（動機付けの増強（ME）、簡潔な助言（BA））が65歳以上の高齢有害飲酒者の飲酒量を減らすかどうか、また高齢者において若年層と同じような効果があるのかどうかを明らかにするために研究を行った。1995年10月から1997年12月にかけて12のクリニックにおいて、13,438人（うち2,702人が高齢者（180人が有害飲酒者））の中から対象者を選び出した。45人の高齢者を動機付けの増強（ME）を受けもの（18人）、簡潔な助言（BA）を受けもの（12人）、および標準的なケアを受けもの（12人）に無作為に振り分けた。調査開始時点では、高齢者は若年者の集団に比べ飲酒量が多く、飲酒を控える日数が少なかった（$p<0.05$）。ME、BA、SCの介入を受けている高齢者では飲酒を控える日数が増え、一日あたりの飲酒量が減り、一ヶ月の飲酒日数が減少した。MEおよびBA群ではSC群に比べてアルコール消費量が減少する傾向が認められた。高齢者における効果はどの介入群においても若年層における効果と同様であった。以上より、短期介入は高齢の有害飲酒者においても若年層に対してと同様アルコール消費量を減らすのに効果があることが明らかになった。</p>	